

人間関係——与えられた人と人との縁
——をよく噛みしめたら、必ずやそこには
謝念がわいてくる。これ世を幸せに
生きる最大の秘訣といつてよい。

森信三先生一語千鈞より

再生



山山又

又

中・高生のための「人間の生き方」

森 信三先生 講述

― 人間学 小門 ―

八 「責任」はにんげんの軸

「自分は自分の主人公」とは、東井義男先生の有名なコトバであります。われわれ人間は、この世に「生」を与えられた以上は、それぞれお互いは自分の「人生」の責任者であるからであります。

言いかえますと、それぞれに、自分の人間形成に対して責任と義務を背負っているわけがあります。

そこで、次にはそうした自己形成の過程において、その基盤といわれるような人間形成の「場」となるものは何か、について考えてみたいと思います。そしてそれは結局(一)家庭、(二)学校、(三)社会という三つの「場」が重大な役割を果たしていると言えましょう。ところで第一の「家庭」という場ですが、これが如何にわれわれ自身の「人間形成」のために、根本的な土台になっているかという事が、皆さん方も年がいくにつれて、しだいに分つてくると思います。この家庭における人間形成のうち、最も重大なのは、いわゆる「しつけ」の問題でありました。「しつけ」とは、人間として最も基本的な、いわば骨格ともいべきものを身につけさすということとあります。

したがって、心ある両親はわが子に対して、このしつけだけは非常に力を入れていくわけがあります。

ところでこの「しつけ」については、わたくしがつねに力説しているように、次の三箇条がその根本であります。すなわち、(一)朝晩のあいさつ、(二)「ハイ」というはっきりした返事。そしてもう一つ(三)「ハキモノ」を脱いだら必ずそろえ「席を立ったら必ず椅子を入れる」ということでありまして、わたくしの考えでは、人間としての

実践人福岡仁風読書会 第76回 5月20日(土)
場所：こしき仁風庵

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

最も基本的なしつけとしては、以上の三箇条で良いと考えているのであります。

何となれば、この三つのしつけによつて、いちおう人間としての軌道に乗ることが出来るからであります。ですから皆さん方も、この人間としての三大条件を軽んじないで、しっかりと身につけて頂きたいのです。

それというのも皆さん方自身が、将来親として、家庭におけるしつけの責任者になるわけですから、今のうちにこれらをしっかりと身につけておかななくてはならぬわけがあります。

それから次に人間形成の「場」としての「学校」ですが、学校もまた「人間形成」にとつて欠くことの出来ない役割を果たすものであります。

いま人間をかりに知・情・意という三つの面から考えたとすれば、学校は主として知的な面が主となり、人間として必要な一般的な基礎知識を授ける「場」と云えましょう。しかし学校も一種の人間集団である以上、そこでは単に知識だけでなく、色々と人間としての修練を受ける「場」でもあるわけです。

言いかえますと、集団的訓練をうける「場」でもあります。人間は、個人としての責任者であるだけでなく、人間集団の一員としての責任者でもありますから、まず社会に先だつて学校教育の中において、集団的訓練がなされなければならぬわけがあります。したがって、友人関係というものももちろん大事ですが、しかし学校のきまりはそれ以上に厳守すべきであり、随つて校則違反は絶対に許されるべきではないのです。

ところで第三の人間形成の「場」としての社会ですが、これは近ごろ「生涯教育」ともいわれるもので、一生涯つづくにであります。というのは、人々は学校を卒業して、それぞれ一人の社会人として、一定の職業につき、それぞれ責任のあ

る部署につくわけですが、これによって種々の人間試練や鍛錬を受けるに
ります。そして、このように人が社会の一員となることによつて受ける、こうした
人間形成のきびしさは、家庭教育や学校教育の比ではないのであります。ではこ
の厳しさは一体どこからくるかと申しますと、それは「職業」というものを持つこ
とから生じる「責任」及び「義務」からくるわけでありませう。しかもこうした「職
業」というものからくる責任の背後には、つねに経済的なものが横たわっているわ
けです。それは単に給料や収入にかかわる問題だけではなくて、ひとつ誤ればそ
の勤務する会社や官公庁に多大の損失をかける場合もあるわけです。またかり
に経済的な損失はかかなくても、集団の信用にかかわるようなことは、絶対に許
されないわけでありませう。

しかもわれわれ人間が学窓を出て、社会の一員となることによつて始まる人
間形成の真のきびしさは、こうした仕事の責任上から来るものみに留まらない
のであつて、いわゆる「人間関係」の複雑さから来る方が、むしろ多いとも言えま
しよう。すなわちタテの上下関係とヨコの同僚関係からくるものもつれや
辛さがつきまとうわけでありませう。このことは、今の皆さん方には何ら関係ない
わけですが、しかしわれわれ人間は、「社会」を場として行われる人間形成のきび
しさによつて、深刻な鍛錬をうけるわけでありませう。

ですからわれわれは、人間として、また社会の一員として、みなそれぞれ義
務と責任を背負うわけでありませう、無軌道な、勝手気ままは許されないと
いうことを、皆さん方に申しあげたいのであります。言いかえれば、人間は一生「責
任感」というものから、免れないものだということを、今のうちから深く心に刻
んでおかれることが大切だと思ふのです。

そしてそこからして又、かの「義務を先にして娛樂はあとにせよ」という真理は、
万人に通じて生涯守るべき大道といえませう。と同時にまた半面、「自分は自
分の主人公」として、行動の責任者であることを忘れず、毎日の生活を慎むこと
が大切であります。

自分は自分の主人公

東井義雄

自分は自分の主人公
世界でただ一人の自分を創つていく責任者

○

九(苦)をのりこえなければ
一〇のよここびはつかめない
九九を通らなければ
一〇〇の幸せは得られない

○

ほんものとにせものとは
見えないところのあり方で決まる

○

ほんものはつづく
つづけるとほんものになる

○

すべて見える世界は、その幾層倍もの
見えない世界にささえられて
そこに存在している

○

尊いもの 美しいもの 善なるものも
みんな謙虚な人のところへ集つてきて
その人のものとなる

○

二度とない人生。二度とない今日ただ今。

○

生きているということとは、
どんなにすばらしいことなのか
どんなにただごとでないことなのか

○

いちばん身近な人のおかげが見えないようでは
しあわせにはめぐりあえない

○

亀は兎になれない

しかしそのつもりになつて

努力すれば

日本一の亀になれる

君は 君をりつぱにする

世界でただ一人の責任者なんだね

第一章 人の行かない道を行く

傲りを捨てて誇りをもつ

責任を問われるべき人



少年少女たちの非行が、大人顔負けの犯罪にまで至って、深刻な社会問題となりました。これに対して家庭の教育や学校の指導のあり方、量刑の軽重について、批判非難の「声」があります。特に重大犯罪が起こると声は高まりますが、他の大きなニュースが生じると、声のトーンも低くなります。

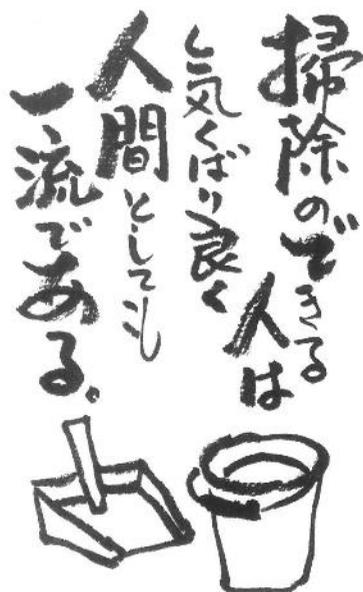
しかしその間にも問題は深刻化する一方で、よくなる気配が感じられません。万引きという立派な犯罪であっても、いまや水道の水を黙って飲んだ程度の気持ちになっております。子供たちのいまの姿を見る時、背筋が寒くなるような思いをさせられることが多くなく、非難されるのも当然となりました。

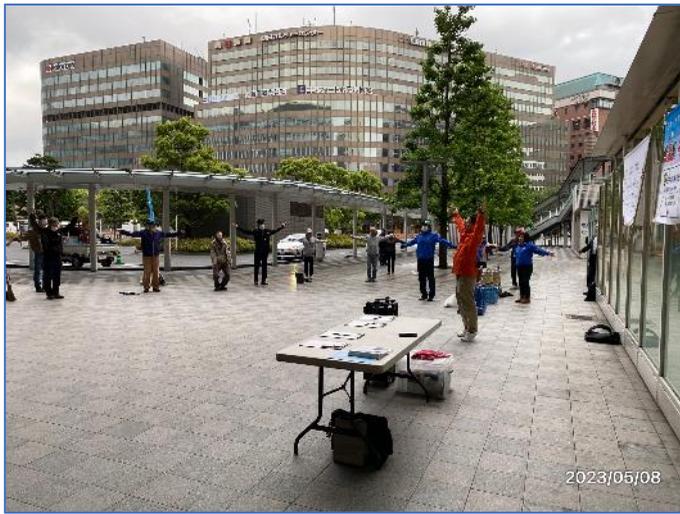
しかし、子どもたちは自然にこういう行いをするようになったのではなく、身近な大人の姿から影響を受けたにほかなりません。原因をつくった大人こそ責任を問われるべきであって、結果として現れた子供たちの姿や行為だけを責めることはできません。

日本の大人の暮らしや仕事の仕方を見る時、私のような高齢者の同世代であっても“卑しい気”を撒き散らしている人が少なくありま

せん。子どもはいやでもその姿に触れ続け、不知不識のうちに身も心も染められているのです。染まり易い子どもほど、社会の被害者でありましょう。

日本では識者と称する人が、批判者であり避難者でもあります。この人たちが、非行少年の前に立ちほだかり、更生させるために汗を流した例があるでしょうか。私の知る限りありませんでした。このように無責任な風潮が、純真な子どもを傷つけ、大人への不信感を増幅していると思います。





2023/05/08

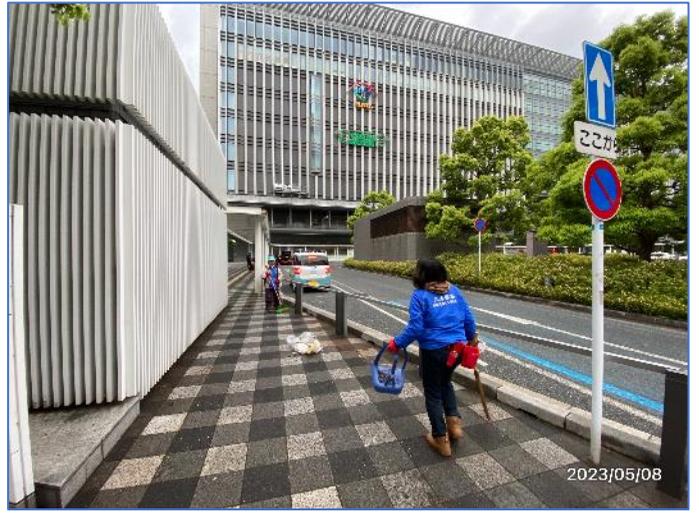


博多駅副駅長のあいさつ

2023/05/08



2023/05/08



2023/05/08



2023/05/08

～古き良き時代の日本再生～

とんぼろ

Instagram



@RAKUNOJIN1962

=== 心を耕し、生を拓く ===

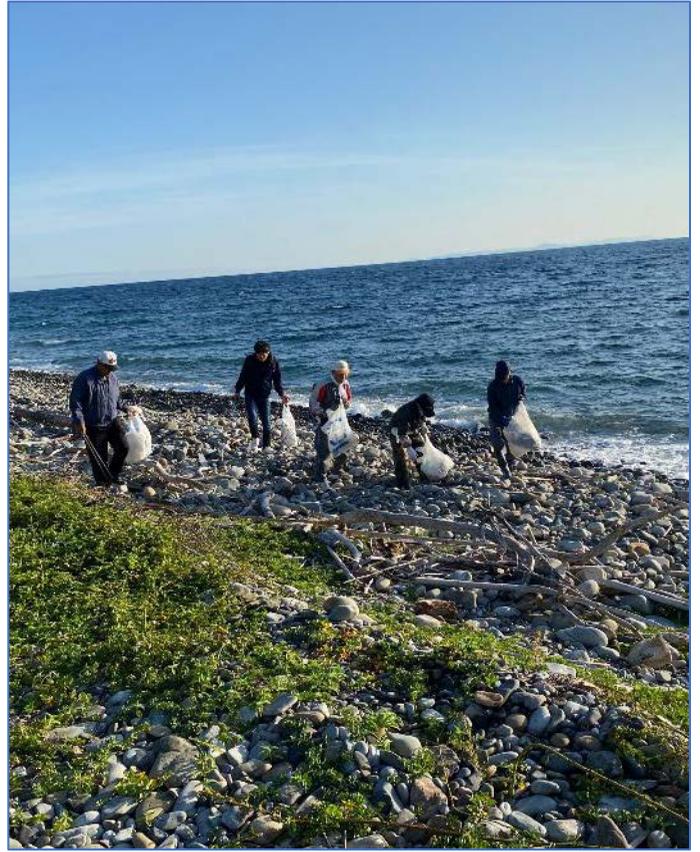


第4回 とんぼろ海掃隊海岸清掃in長目の浜 R5.5.20

令和5年(2023) 6月号 NO,007

とんぼろ海岸清掃／薩摩川内市 in長目の浜

第4回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》

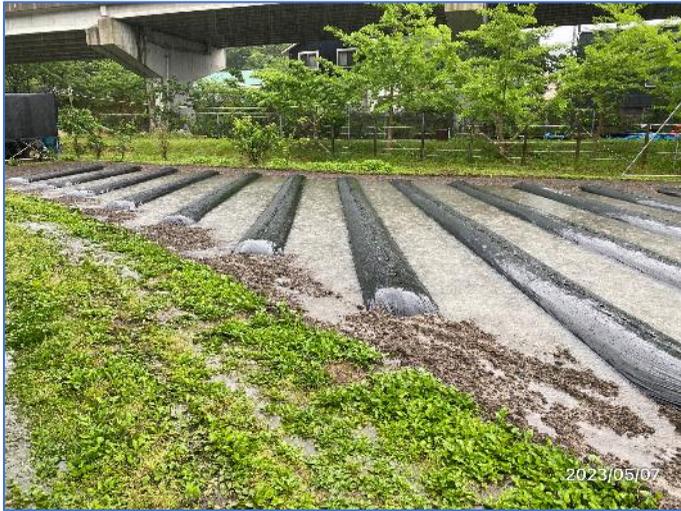




楽農人放浪記 007

福岡県宇美町

NPO:法人楽農人



5月7日の大雨で浸水



微生物土壌改良材の成果？か、翌日には何事もなかったようです。



葱の生育状況



ニンニクの生育状況



開聞岳を望むキャベツ畑



甌島の生産者をサツマイモ苗作り視察



苗切り実践



開聞岳を背に



楽農人宇美圃場に福岡市内から家族でサツマイモ植付作業を体験



丸山圃場耕耘作業



丸山圃場畝立作業



丸山圃場芋植え



芋苗挿し器を作りました



	6月			7月			8月			9月			10月		
日	8	10	17	1	8	15	5	8	19	2	8	16	7	8	21
曜	木	土	土	土	土	土	土	火	土	土	金	土	土	日	土
行事活動名	博多駅早期清掃 第355回	福岡空港ミリオン清掃61回	長目の浜海岸清掃 第5回	福岡空港ミリオン清掃62回	博多駅早期清掃 第356回	長目の浜海岸清掃 第6回	福岡空港ミリオン清掃63回	博多駅早期清掃 第357回	長目の浜海岸清掃 第7回	福岡空港ミリオン清掃64回	博多駅早期清掃 第358回	長目の浜海岸清掃 第8回	福岡空港ミリオン清掃65回	博多駅早期清掃 第359回	長目の浜海岸清掃 第9回
場所	博多駅博多口	福岡空港周辺	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市									
開始時刻	6時15分		6時30分		6時15分	6時30分									
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡清掃クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊									

再生六月号

令和五年六月八日発行

(毎月一回八日発行)

創刊

平成二十八年九月一日

発行人

富吉製袋右衛門

発行人(編集人)富吉 製袋右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ海掃隊

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)



@F_JISSENJIN



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。